

# 第19回「青少年文化体験フェスタ」を実施して

実行委員長 中内伊美子

第19回「青少年文化体験フェスタ」を、昨年12月11日(土)に水富小学校と水富公民館にて実施しました。

これまで、会場校とその近くの小学校の児童の参加が多い傾向はありましたが、今回、水富小学校からはかつてない多数(述べ92名の参加)があり、先生方の一層のおすすめがあったと聞いております。

実は一昨年に第17回として同じ会場での実施を計画し、新型インフルエンザ流行のため、直前に中止した経緯があります。

今回、第19回としての再度の実施に、2会場とも快く応じて下さいました。

2つの会場での実施は、私としては初めてのことであり、それなりの配慮と準備も必要でしたが、交通安全協会に依頼もでき、会場周辺の通行については安心感がありました。



フェスタの実施には、市内全域の小中学生に公平な機会を提供したいとの考えをもっており、今回も指導者やスタッフ用の駐車場を、JA水富支店やご近所の方から貸していただいたのもありがたいことでした。

今回は、16団体の参加と中学生ボランティア講座への2名の参加があり、指導団体の回を重ねる毎の工夫もみられました。また、来

たる2月に実施予定の「市民芸術祭」と関連づけて劇団「みんな座」のワークショップの講座も加わりました。

実行委員の皆さんにはその都度、前回の反省を生かして丁寧な運営にあたっていただいています。ご来賓の方にも毎回励まされます。

フェスタ実施後の実行委員会では、最近はこの時期、体調不良の原因となること(感染症等)の流行がみられ、実施について再考する必要もあるのではないかという意見もありました。第19回の当日も、水富小学校には校長先生をはじめ先生方に大変なお助けをいただいた件がありました。ここに改めてお礼申し上げます。

第19回「青少年文化体験フェスタ」

- ・体験者 325名(中学生ボランティア2名を含む)
- ・指導16団体、指導者総数 83名

## ..... エッセイの寄稿について

「ネットワークニュース」2010年11月号から、文団連に関わりのある方にお願ひし、紙面の一部を割いて、軽いエッセイを掲載することにいたしました。会報の読者層を広げるため、今後も継続したいと思っています。会員の皆様からの寄稿も歓迎します。

3月号までのテーマは「光と夢」です。ご期待ください。(広報委員会)